

家庭でできる！ ことばを育む親子遊び

対象年齢：1歳半～3歳頃（発達段階にあわせて実施してください）

スキンシップによる感覚刺激は脳の発達を促す役割があり、ことばの成長や、人とのコミュニケーションを楽しむ意欲にもつながります。
家庭で出来る親子遊びを紹介いたします。

① ゆらゆら遊び



「かたぐるま」「おんぶで走る」「お馬さん」「手押し車」等のゆらゆら遊びは、揺れを感じ、元に戻ろうとすることで、脳が刺激されます。

② 上下遊び



「高い高い」や「トランポリン」等の上下遊びは、高さを感じることで適度なドキドキ感があり、脳が刺激されます。

※脳に衝撃を与えないよう、ゆっくり行いましょう。

③ ふれあい遊び



お子さんをぎゅっと抱きしめたり、お膝の上で「指遊び」や「ちょちょ遊び」をするなど、保護者とのスキンシップで感じた心地よさは、ことばの土台となる信頼関係や安心感を育みます。

④ まねっこ遊び



鏡うつしのように、お子さんの動きと同じように保護者が動き、お子さんが声を発したら、同じ声色で真似してみましょう。

最初は不思議そうな表情をするかもしれませんが、次第に「自分に関心がある」という意識を持ち、視線が合いやすくなったり、お子さんからの発信の増加につながります。